

食安輸発0526第1号
平成22年5月26日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について
(中国産はも及びその加工品)

標記については、平成22年3月30日付け食安輸発0330第1号(最終改正：平成22年5月19日付け食安輸発0519第1号)にて通知したところですが、今般、輸入時のモニタリング検査において、中国産はもから基準値を超えるトリフルラリンを検出したことから、輸入届出ごとの全ロットについて検査命令を行うこととし、同通知の別表1の中国のチュウゴクモクスガニ及びその加工品の項の次に下記を加えるので、御了知の上、関係営業者への周知方よろしくをお願いします。

なお、登録検査機関の受託体制が整うまでの間は、輸入者に対し自主検査を指導することとし、検査命令の発出を開始する日については、別途連絡することとします。

また、基準値を超えた場合にあっては、食品衛生法第11条違反として措置すること。

記

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
はも及びその加工品 (簡易な加工に限る。)		トリフルラリン	別表2の4によること。	平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。	基準値(0.001ppm)を超えるトリフルラリンが検出されるおそれがあるため。